

JR東海労ニュース

No. 901

2007年1月12日

JR東海労働組合

「週刊現代」デッチ上げに 組合費？で1億8480万円也?!

講談社・西岡ライターによる、デッチ上げ記事が24週で終わった。私たちが異様なデッチ上げによって被った精神的被害ははかり知れない。このようなデッチ上げは絶対に許されることではないし、私たちはこのような社会悪を裁判ではっきりとさせていく。

ところで、何やら「こじ付け」で終結した連載も、正直なところ、講談社による西岡切り！なのではないか。過去に一時は売れていた週刊現代もとうとう購買数が10位にまで落ちたようだ。講談社は、JR連合・JR東海ユニオンの後ろ立て（購買部数を伸ばすための毎号22000部？の購入）をあてにし、完全に読者を離してしまった。結局取り返しのつかない結果を招いただけの連載であった。

さて、この週刊現代のデッチ上げ連載を通じて一番滑稽だったのがJR連合・JR東海ユニオン幹部だ。デッチ上げ連載にせつせと1億8480万円？もの組合費を投入したはいいが、結局何の意味もない結末。私たちをありもしない「私物化」「組合費横領」などと主張する前に、自分たちの組合費の使い方のイロハを考えたらどうか。

ユニオン組合員の皆さん、ユニオンと決別し、JR東海労に加入しよう！

「プロ意識」を煽る会社第二労対部としてのユニオン幹部による、デッチ上げへの組合費大量無駄遣いを突き上げよう！